

TASUC早稲田教室（放課後等デイサービス） 事業所における自己評価結果(公表)

令和5年1月調査 ○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			小集団での運動や活動を実施する際は、人数を制限したり、順番表やマットを用いて距離を確保している。	中高生が多い場合は部屋が狭く感じるため、人数制限やスペースを分けて対応する。
	2 職員の配置数は適切であるか	○				
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			医療的ケアや肢体不自由のお子さんは利用されていないため、ビル入り口の3段の階段も今のところ問題はない。	
業務改善	4 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			始業時、就業時にミーティングを実施して情報共有をおこなっている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			独自に会員アンケートを行い、改善に努めている。	
適切な支援の提供	6 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			独自に会員アンケートを行い、改善に努めている。	
関係機関や保護者との連携	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			Zoomでの社内研修や、事例検討・ケースカンファレンスなどを定期的に開催している。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			本人・保護者のニーズウォンツ聞き取りと、アセスメント結果をもとに課題と強みを把握し、放課後等デイサービス計画や個別支援計画を作成している。	
適切な支援の提供	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメント結果を保護者を介して学校等と共有してお子さんの合理的な配慮を整えようとしている。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行なっているか	○				
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			家庭で取り組めるプログラム提案やその進捗確認の連絡を入れて、家庭生活のサポートをしている。	
適切な支援の提供	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
適切な支援の提供	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
適切な支援の提供	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			療育担当者または児発管が参加するようにしている	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				
関係機関や保護者との連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要なお子さんは現在受け入れていない。	現状では受け入れはないが、受け入れが決まった際には医療機関等との連携を密に行う。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
関係機関や保護者との連携	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			保護者・本人を中心に、個別支援計画書やサポートシートをもとに情報共有をおこなっている。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	○				

保護者との連携	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	<input type="radio"/>		夏休みや冬休みなどの長期休暇、日曜日の郊外活動に、兄弟児やお友達の参加を促している。	
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	<input type="radio"/>			
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>			
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)の支援を行っているか	<input type="radio"/>			
30 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>				
31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>				
32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	<input type="radio"/>				
33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>				
34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>		月に一度、月間予定表を発行して行事予定や事業所の取り組みなどを載せている。ブログやSNS等も本人・保護者の承諾を得て活動報告を載せている。		
35 個人情報の取扱いに十分注意しているか	<input type="radio"/>				
36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>				
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<input type="radio"/>			家族会活動を中心に、地域の方が参加しやすいプログラムを検討していく。	
38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	<input type="radio"/>			マニュアルはあるが、細かく周知まではできていないため、定期的にアナウンスする。	
39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>		年に2回程度避難訓練実施日を設け、避難経路の確認や非常食体験など、出欠席を取り参加をお願いしている。		
40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>		新宿区虐待防止研修への参加や、社内での理念・対応マニュアルの確認をおこなっている。		
41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	<input type="radio"/>				
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>		基本的には食事提供は行っていない。必要な場合はご家族がいるときに対応してもらっている。		
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>				